

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### 1. 子ども数と少子化の動向

#### (1) 児童人口の推移

本市における児童人口（18歳未満）は、平成22年には12,185人でしたが、少しずつ減少を続け、平成26年には11,596人となっています。

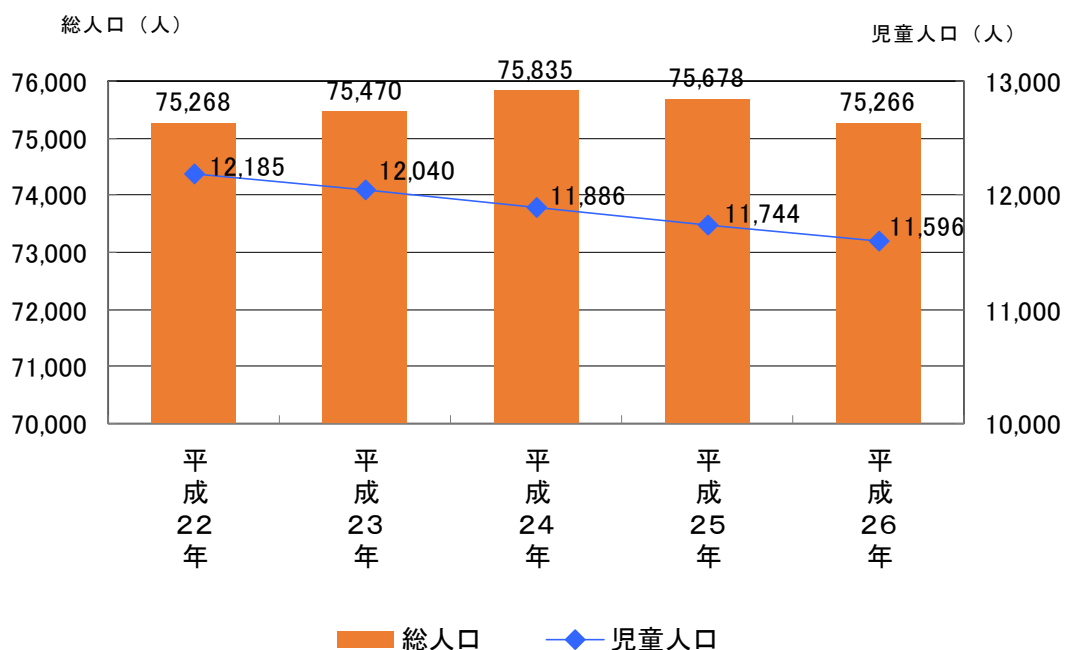
また、総人口に占める児童人口の割合は、平成22年の16.2%から毎年減少を続けています。計画の最終年である平成31年を想定した場合、引き続き減少していくことが予想されます。

#### 児童人口の推移

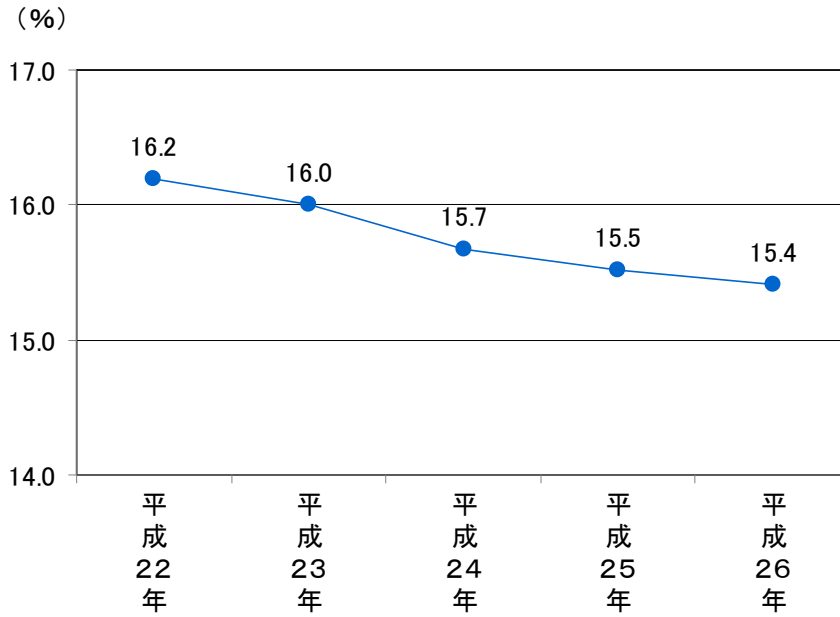
	児童人口(人)	総人口(人)	児童の割合(%)
平成22年	12,185	75,268	16.2
平成23年	12,040	75,470	16.0
平成24年	11,886	75,835	15.7
平成25年	11,744	75,678	15.5
平成26年	11,596	75,266	15.4

資料:住民基本台帳

(各年1月1日)



児童人口の割合の推移

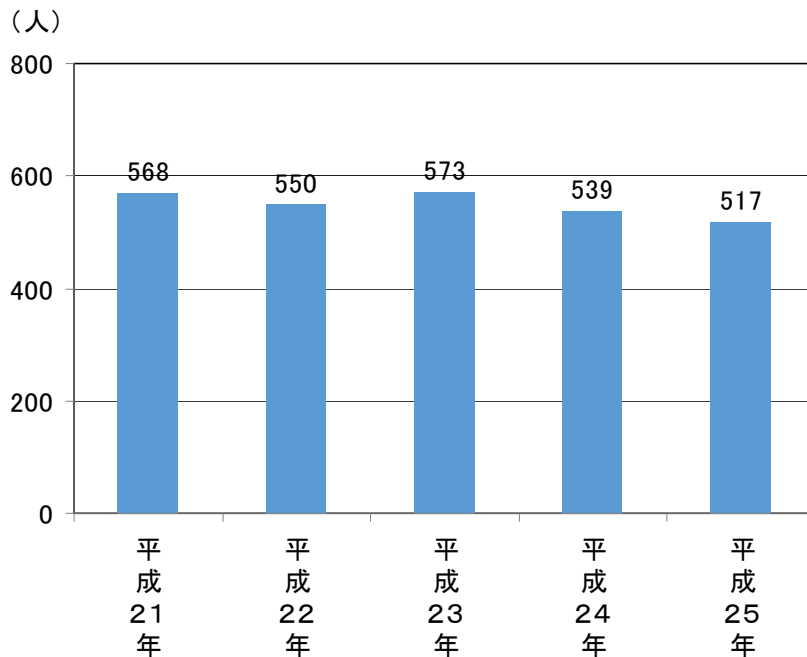


資料:住民基本台帳  
(各年1月1日)

(2) 出生数の推移

本市における出生数は、最近の5年間で比較した場合、平成23年の573人をピークに減少しています。

出生数の推移



資料:埼玉県保健統計年報  
(各年1月1日)

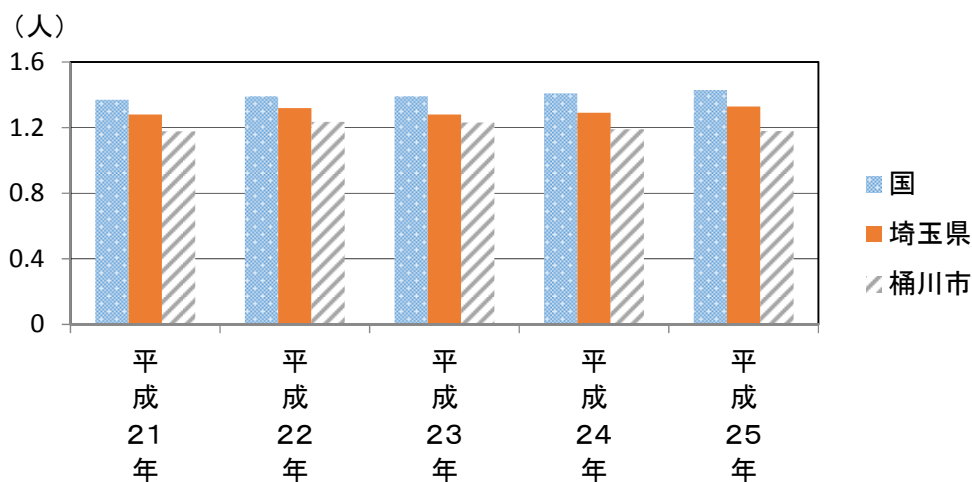
(3) 合計特殊出生率の推移

1人の女性が一生の間に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は、国においては平成21年に1.37人、県においては平成21年と平成23年に1.28人、本市においては平成21年と平成25年に1.18人と最小の出生率を記録しましたが、その後は全国的に微増傾向にあり、出生率は僅かながら上昇しています。本市については増減を繰り返しています。

合計特殊出生率

単位：人

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
国	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43
埼玉県	1.28	1.32	1.28	1.29	1.33
桶川市	1.18	1.23	1.23	1.19	1.18



資料:

- ・埼玉県町(丁)字別人口(総人口)(各年1月1日)
- ・国勢調査年は、総務省統計局「国勢調査人口(日本人人口)」(各年10月1日)

(4) 今後の人口と子ども数

本市の人口を平成26年（現況）と5年後の平成31年（推計）で比較した場合、総人口が減少することに加え、とりわけ0～18歳の人口と人口比率が減少し、65歳以上の人口と人口比率が増加することが見込まれます。

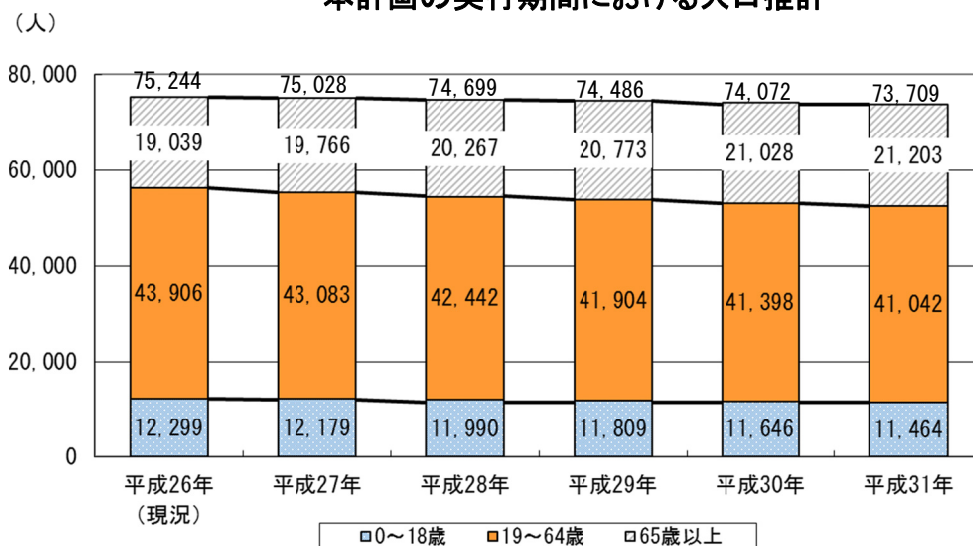
計画目標年次における子ども数の見通し

単位:人(%)

	平成26年(現況)	平成31年
総人口	75,244	73,709
0～18歳	12,299 (16.3%)	11,464 (15.6%)
0～5歳	3,397 (4.5%)	3,134 (4.3%)
6～12歳	4,603 (6.1%)	4,240 (5.8%)
13～15歳	2,126 (2.8%)	1,962 (2.7%)
16～18歳	2,173 (2.9%)	2,128 (2.9%)
19～64歳	43,906 (58.4%)	41,042 (55.7%)
65歳以上	19,039 (25.3%)	21,203 (28.8%)

(注)4月1日現在

本計画の実行期間における人口推計



※第5章の「量の見込み」と「確保方策」の算出に伴い推計児童人口を用いる必要があるため、国が示す算出の手引きに基づき将来人口推計を行っているものを示しています。

なお、推計の実績の時点等が異なるため、桶川市地域福祉計画の将来人口推計とは推計値が異なります。

(注)人口は平成22年～26年の各4月1日時点の人口をもとにコーホート変化率法により算出

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### 2. 家庭の状況

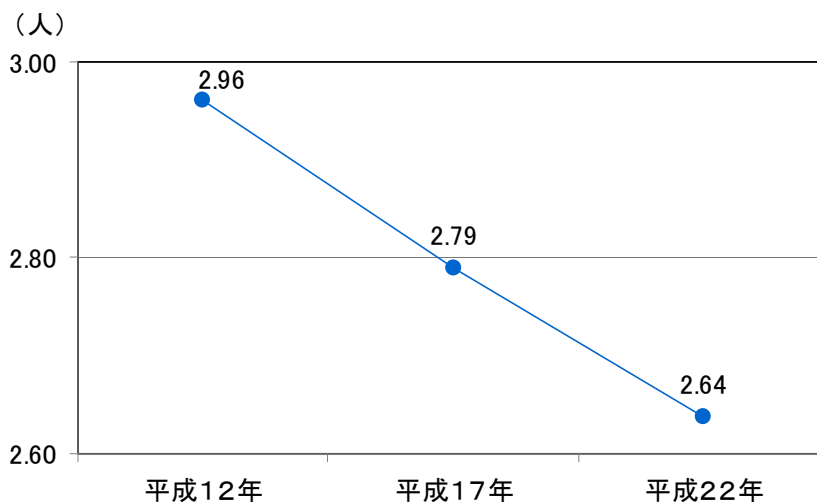
#### (1) 家庭の形態

本市の1世帯あたりの平均人員数は減少傾向にあり、平成12年が2.96人、平成17年が2.79人、平成22年が2.64人となっています。

また、18歳未満の子どものいる世帯の85.4%が核家族であり、年々増えています。

核家族化に伴い、子育て家族の孤立が考えられることから、地域の中でより安心して子育てができる環境づくりが必要です。

1世帯あたり平均人員数



資料:国勢調査

18歳未満の子どものいる世帯の形態

	核家族世帯	その他の世帯
平成12年	81.4%	18.6%
平成17年	82.7%	18.7%
平成22年	85.4%	14.6%

18歳未満の子どものいる世帯の平均子ども数の推移

単位:人

	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	県 平成22年
18歳未満の子どものいる世帯平均	1.71	1.70	1.68	1.68	1.66
うち6歳未満の子どものいる世帯	1.30	1.30	1.28	1.29	1.28
核家族世帯	1.69	1.68	1.68	1.68	1.67
うち6歳未満の子どものいる世帯	1.29	1.30	1.28	1.30	1.28
その他の親族世帯(三世帯同居)	1.80	1.75	1.68	1.66	1.63
うち6歳未満の子どものいる世帯	1.31	1.28	1.30	1.23	1.27

資料:国勢調査

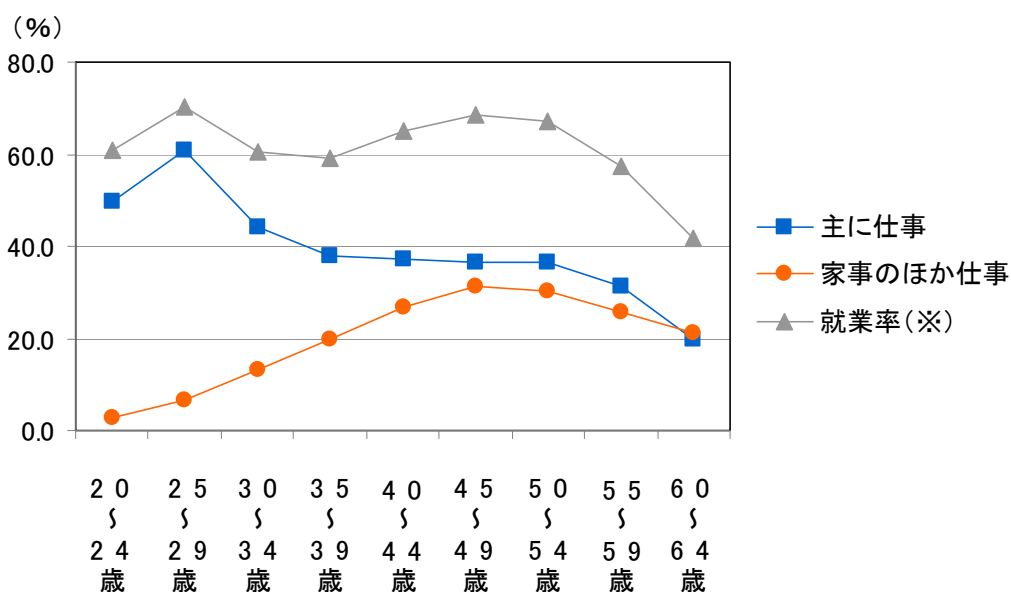
## (2) 女性の就労状況

本市の女性の就労状況を見ると、「30～34歳」で就業率がいったん下がりますが、再び「40～44歳」から上昇します。30歳代以上の就業率のピークは「45～49歳」で68.4%となっています。就労形態を見ると、20歳代は「主に仕事」の比率が高くなっていますが、45歳以上は、「主に仕事」と、「家事のほか仕事」がほぼ同数となっています。

女性の働き方が、結婚・出産・育児と大きくかわっていることから、今後は働く女性も安心して利用できる教育・保育の充実など、働く環境の整備が必要となっています。

女性の就労状況

	女性人口	主に仕事	家事のほか 仕事	就業率(※)
20～24歳	1,806人	49.8%	2.9%	60.9%
25～29歳	2,018人	61.0%	6.6%	70.2%
30～34歳	2,273人	44.2%	13.2%	60.6%
35～39歳	2,975人	37.9%	19.7%	59.3%
40～44歳	2,674人	37.4%	26.9%	65.0%
45～49歳	2,342人	36.5%	31.2%	68.4%
50～54歳	2,200人	36.4%	30.2%	67.1%
55～59歳	2,613人	31.2%	25.9%	57.5%
60～64歳	3,285人	19.9%	21.1%	41.6%



※就業率：「女性人口」のうち、就業総人口（「主に仕事」、「家事のほか仕事」、「通学のかたわら仕事」、「休業者」の総数）の割合

資料：平成22年国勢調査

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### 3. ニーズ調査にみる子ども・子育ての状況

#### (1) 調査の目的

本市では、平成27年度から幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していく新たな制度が始まることに伴い、新たな計画を策定するため、市民の子ども・子育て支援に関する実態や要望・意見を把握するためのニーズ調査を行いました。

#### (2) 調査の設計・回収結果

調査対象	就学前児童保護者	小学生保護者
調査方法	郵送配布・回収	郵送配布・回収
調査期間	平成25年11月14日～25日	
発送数	900通	300通
回収数	544通	173通
回収率	60.4%	57.7%

#### ●図表の読み方

- ・図表中の「N」（=Number）は、設問への回答者数を示しています。
- ・調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ・複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。すべての回答比率の合計が100%を超えることがあります。

#### (3) 調査結果

※特に表記がない項目については、「就学前」の調査結果となっております。

#### 保護者の就労状況について

##### ①保護者の就労状況

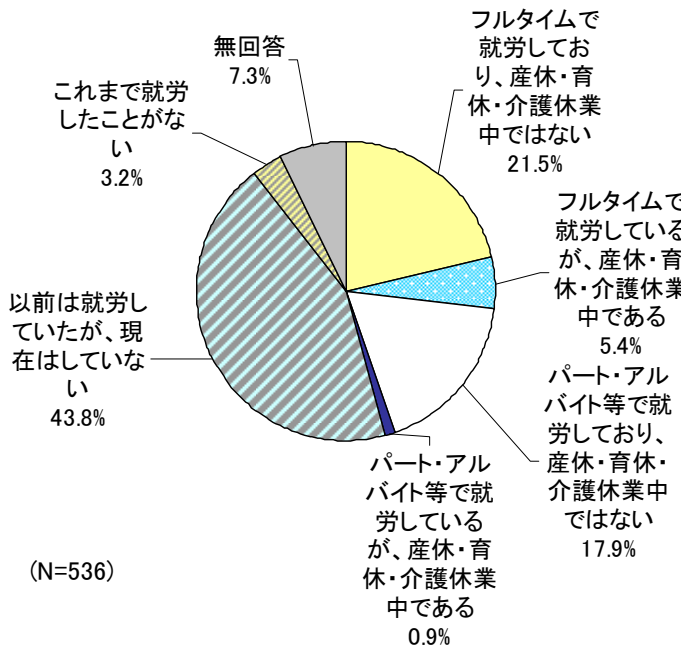
保護者の就労状況については、母親では、小学生に比べて就学前で「現在、就労していない」という回答が多くなっています。

母親のパート・アルバイト等の就労については、就学前の17.9%から小学生では44.3%と、約26ポイントの増となっています。父親では、就学前、小学生ともに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が回答の大半を占めています。

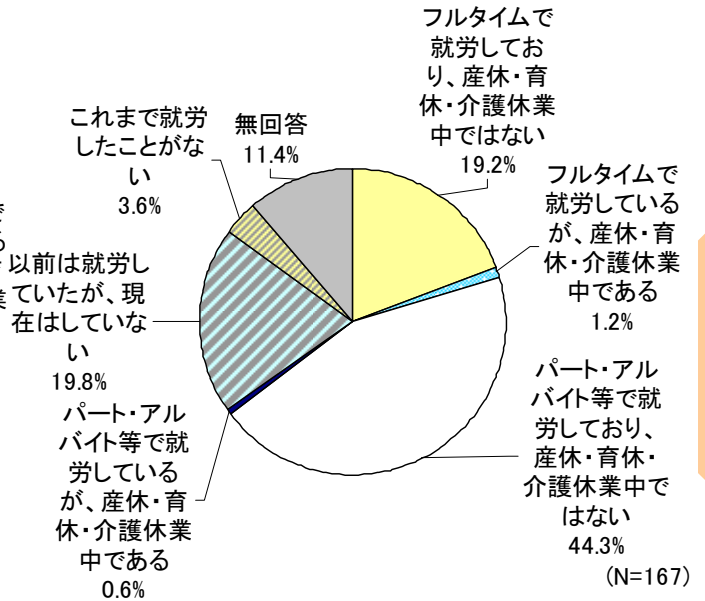


◎母親

●就学前

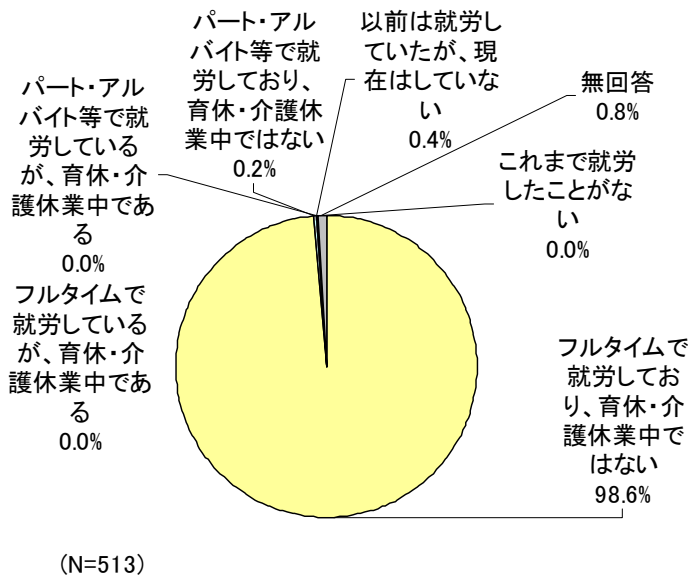


●小学生

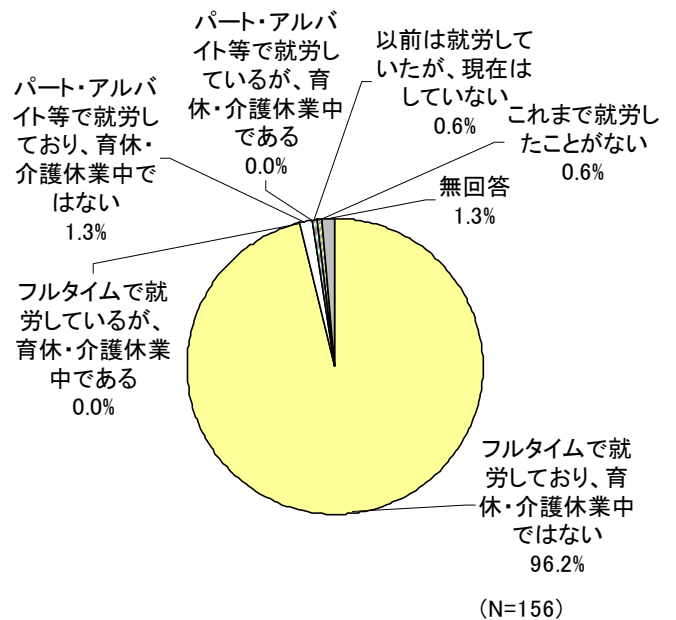


◎父親

●就学前



●小学生



## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

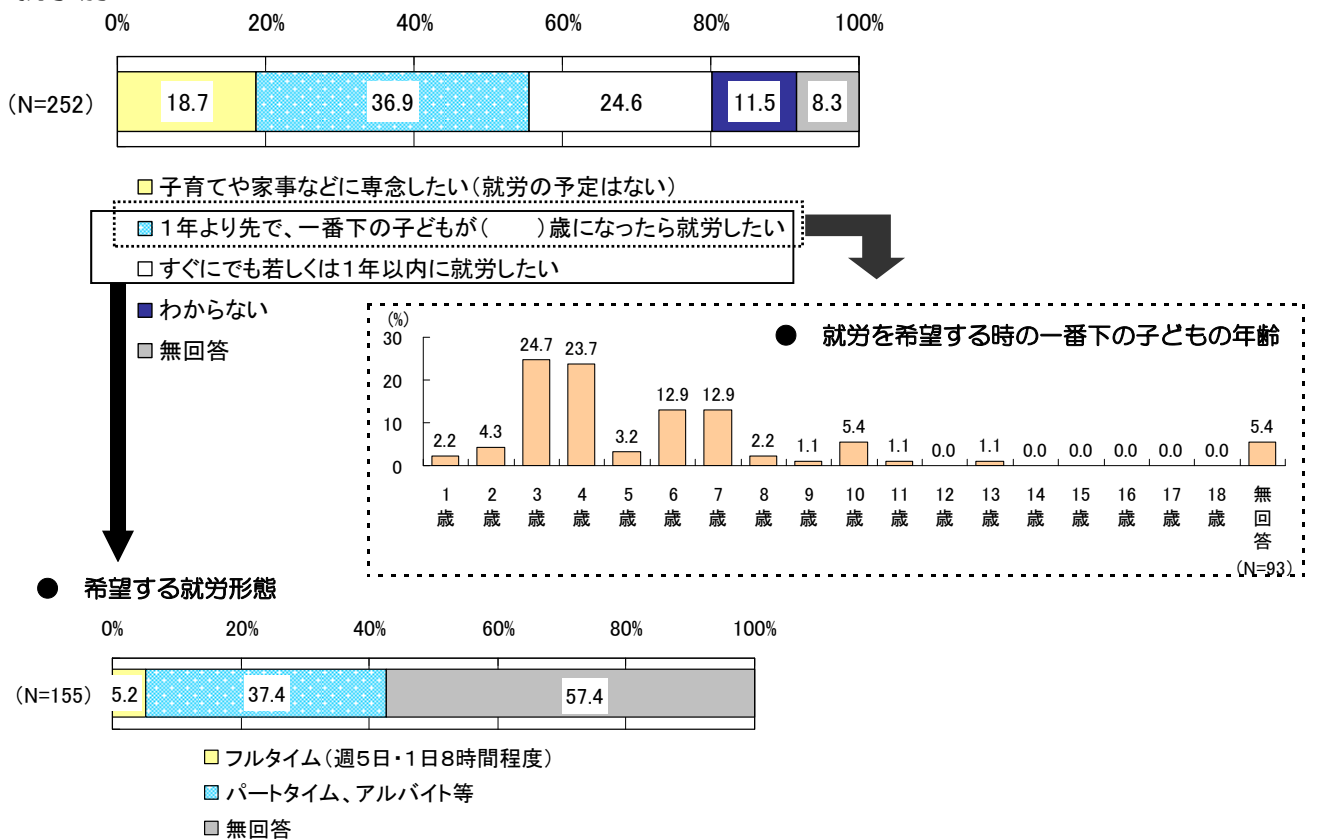
### ②母親の就労希望

母親の就労希望については、就学前で61.5%、小学生で59.0%が就労希望をもっています。また、就学前で就労希望のある母親のうち、「1年より先で、一番下の子どもが（ ）歳になったら就労したい」が36.9%となっており、そのうち就労を希望する一番下の子どもの年齢は「3歳」が24.7%と最も多く、次いで「4歳」が23.7%となっています。

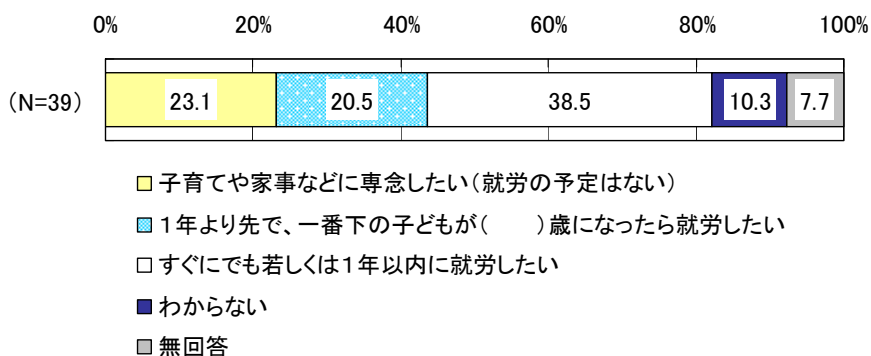
また、希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が37.4%と最も多くなっています。

現在就労していない母親の就労の希望は高く、就労希望時期や就業形態などのニーズは多様であり、これらの希望に対応する就労支援の充実が求められています。

#### ◎就学前

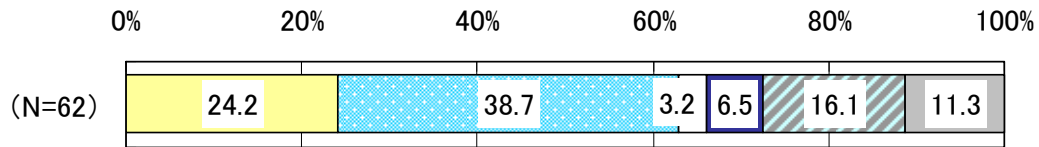


#### ◎小学生



## ③就労希望があるのに働いていない理由

就労希望があるのに働いていない理由としては、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が就学前で38.7%と最も多くなっています。

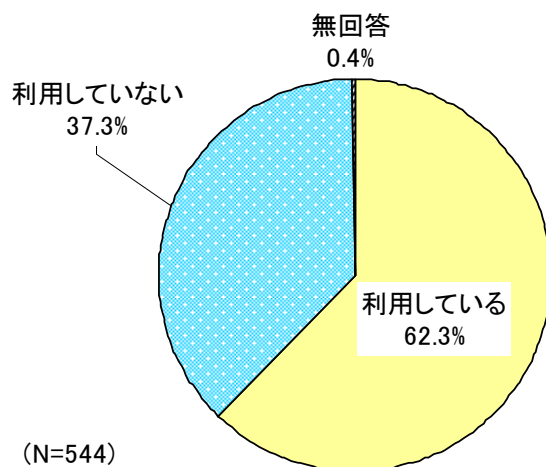


- 保育サービスが利用できれば就労したい
- 働きながら子育てできる適当な仕事がない
- 自分の知識、能力にあう仕事がない
- 家族の考え方(親族の理解が得られない)等、就労する環境が整っていない
- その他
- 無回答

保育サービスの利用について

①現在の利用状況

平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況については、「利用している」が62.3%、「利用していない」が37.3%となっています。



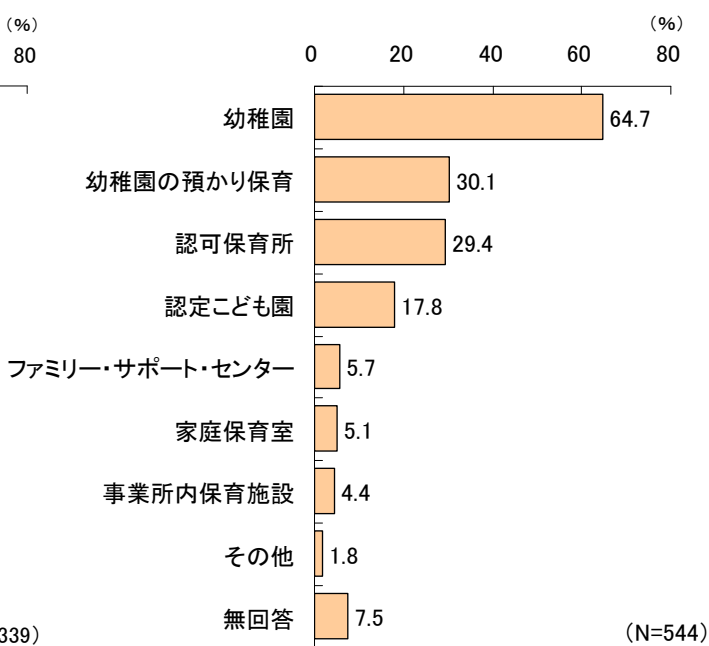
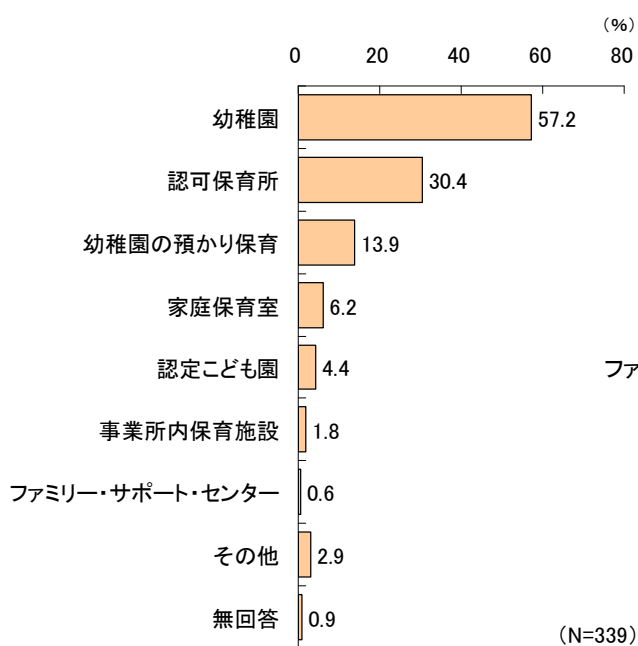
②現在利用している平日の定期的な教育・保育事業と今後の利用希望（複数回答）

現在利用している平日の定期的な教育・保育の事業、今後利用を希望する定期的な教育・保育の事業ともに、「幼稚園」が最も多くなっています。次いで、現在利用している事業では「認可保育所」、今後利用したい事業では「幼稚園の預かり保育」が多くなっています。

計画において、ニーズに対して質・量ともに充実を図ることが求められています。

◎ 現在利用している事業

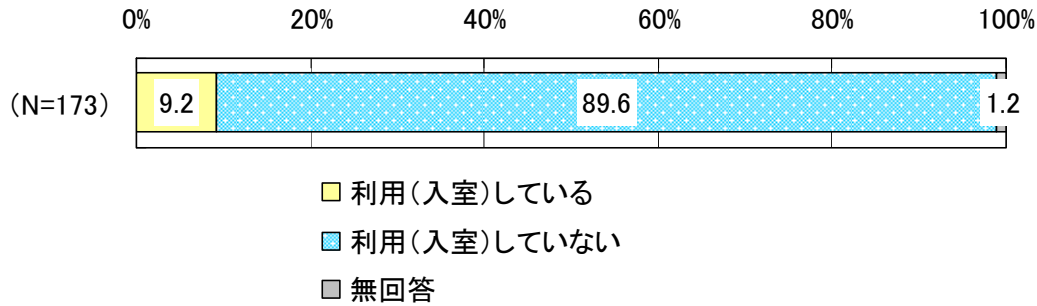
◎ 今後利用したい事業



## 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の利用について

## ①放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の利用状況（小学生）

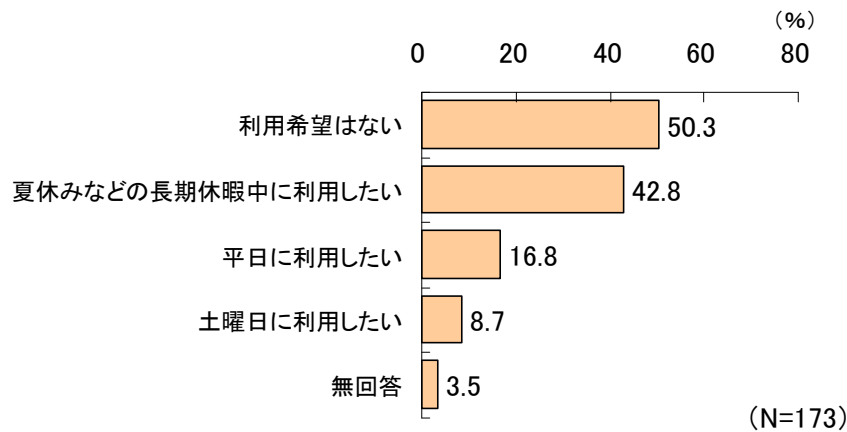
放課後児童クラブは、各小学校に設置され、平成26年度までは4年生までを対象としていますが、「利用している」人の割合は9.2%となっています。



## ②放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の今後の利用希望の有無（小学生）

放課後児童クラブへの利用希望は、「利用希望はない」（50.3%）が最も多く、次いで「夏休みなどの長期休暇中に利用したい」という回答が42.8%となっています。

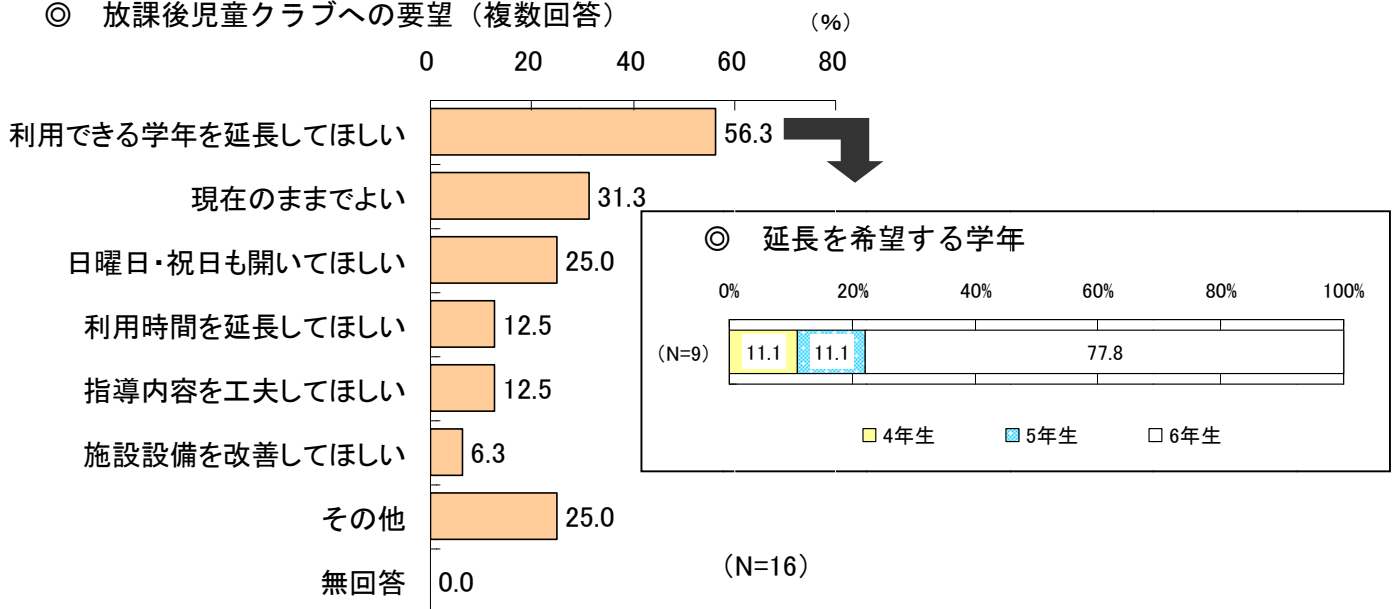
今後は、放課後の過ごし方に関する多様なニーズにも対応できるような環境整備が求められています。



③放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）への要望（小学生）

放課後児童クラブへの要望については、「利用できる学年を延長してほしい」が56.3%と多く、延長を希望する学年は「6年生」が77.8%と最も多くなっています。

◎ 放課後児童クラブへの要望（複数回答）

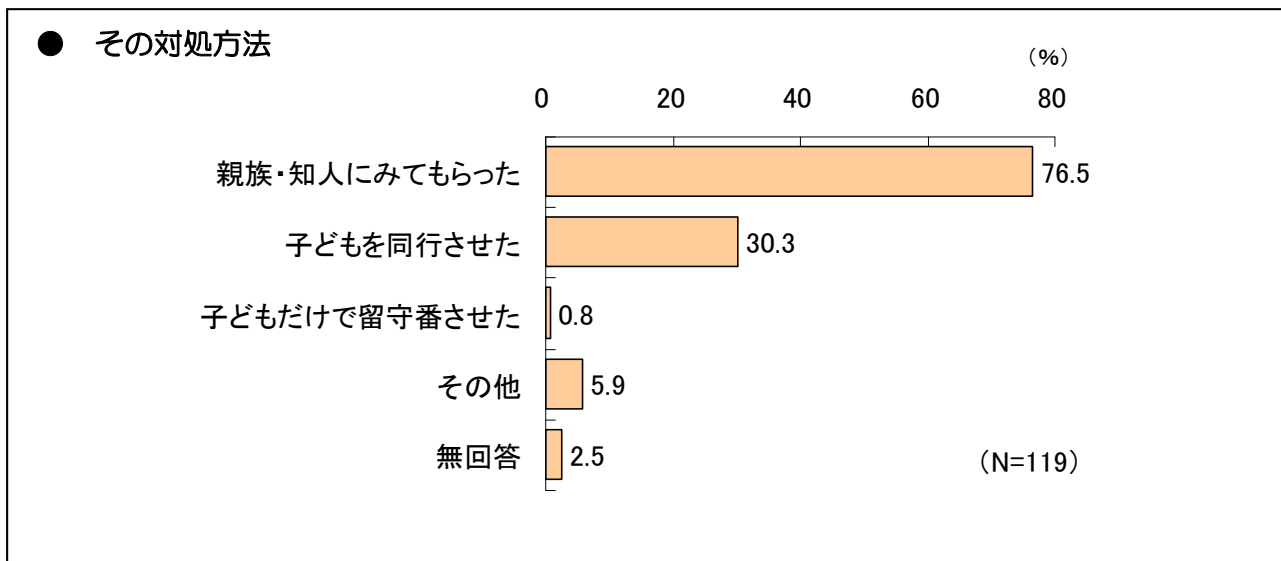
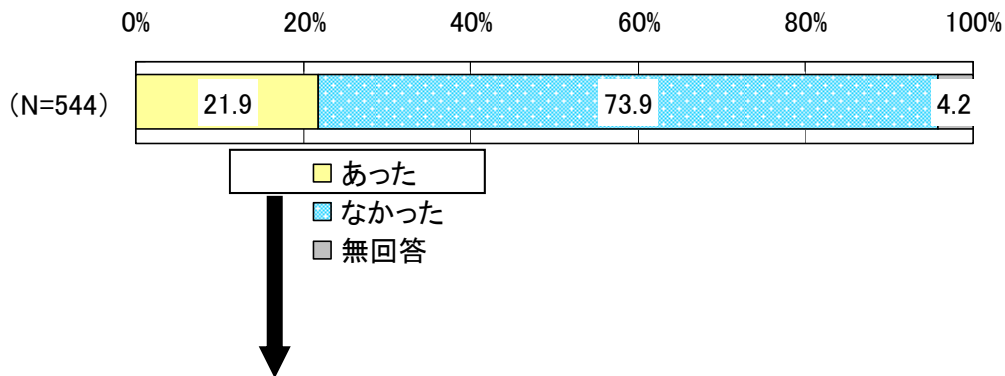


写真：放課後児童クラブの様子

子育て短期支援事業（ショートステイ）について

①泊りがけで家族以外に預けた経験の有無

本市において、平成26年現在でショートステイは実施していませんが、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」という回答は21.9%でした。さらに、その対処法として「親族・知人にみてもらった」が76.5%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」が30.3%となっています。

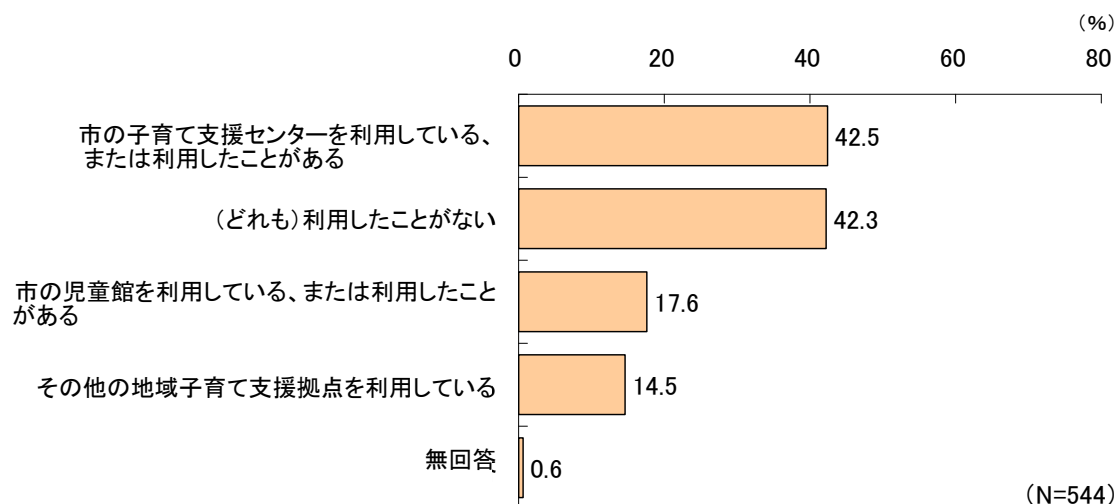


## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### 地域子育て支援拠点事業について

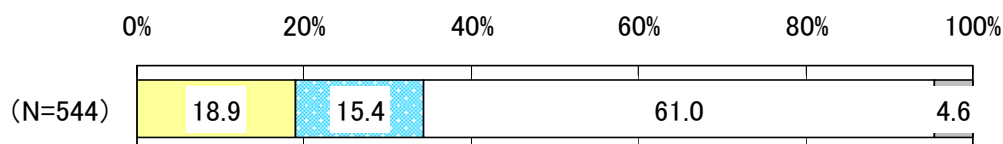
#### ①地域の子育て支援事業の利用状況（複数回答）

地域の子育て支援事業の利用状況については、「市の子育て支援センターを利用している、または利用したことがある」が42.5%、「(どれも) 利用したことがない」が42.3%となっています。



#### ②地域の子育て支援事業の利用意向

地域の子育て支援事業の利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が61.0%、「利用していないが、今後利用したい」が18.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が15.4%となっています。



- 利用していないが、今後利用したい
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない
- 無回答

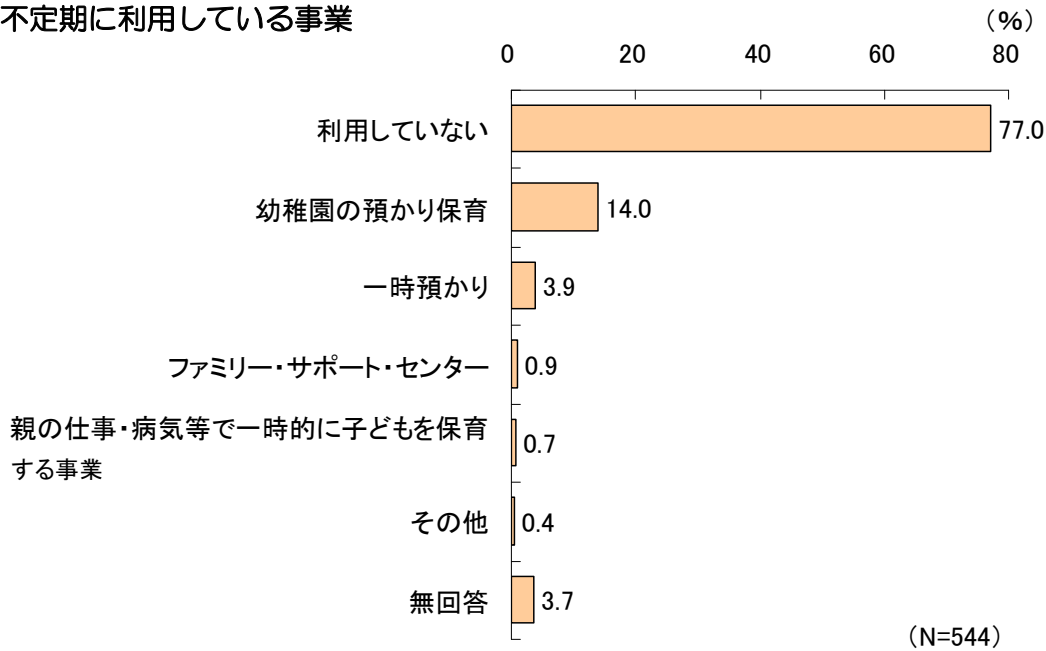


一時預かりについて

①不定期的に利用している事業と利用日数

一時預かりを利用している（「幼稚園の預かり保育」及び「一時預かり」）割合は、17.9%となっています。また、年間の利用日数については、それぞれ幼稚園の預かり保育が「11～30日」、それ以外の一時預かりが「10日」の割合が最も多くなっています。

● 不定期的に利用している事業



● 年間の利用日数

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～30日	31～60日	61日以上	無回答
一時預かり	人数(人)	29	3	3	2	0	2	2	0	0	0	4	2	1	1	1
	構成比(%)		14.3	14.3	9.5	0.0	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	19.0	9.5	4.8	4.8	4.8
親の仕事・病気等で一時的に子どもを保育する事業	人数(人)	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比(%)		50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
幼稚園の預かり保育	人数(人)	76	4	7	9	2	12	1	1	1	0	9	18	2	1	9
	構成比(%)		5.3	9.2	11.8	2.6	15.8	1.3	1.3	1.3	0.0	11.8	23.7	2.6	1.3	11.8
ファミリー・サポート・センター	人数(人)	5	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
	構成比(%)		20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
その他	人数(人)	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	構成比(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

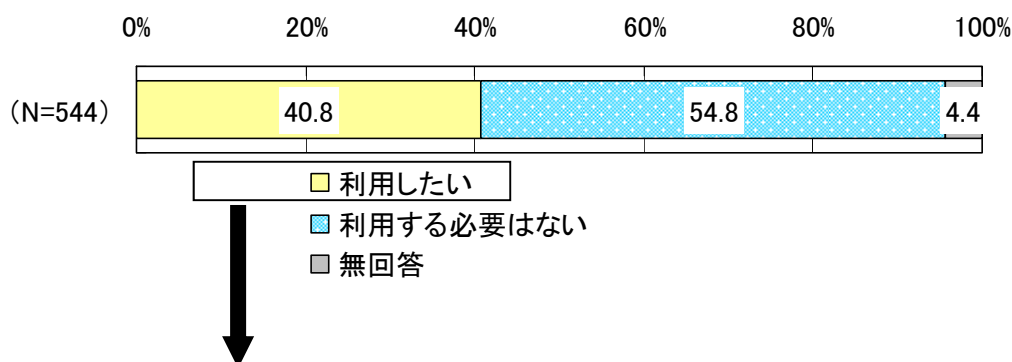
1位:太文字

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### ②一時預かりの利用希望と利用希望日数

一時預かりを「利用したい」という回答は40.8%となっています。必要な年間利用日数については、「11～30日」という回答が最も多く、26.6%となっています。

一時預かり保育事業の利用希望は高く、私用やその他行事、不定期の就労など目的は多様です。今後、事業を利用しやすくするための体制の整備が求められています。



### ● 利用したい日数

		回答者数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～30日	31～60日	61日以上	無回答
私用	人数(人)	167	9	12	15	4	22	4	3	0	0	31	44	9	1	13
	構成比(%)		5.4	7.2	9.0	2.4	13.2	2.4	1.8	0.0	0.0	18.6	26.3	5.4	0.6	7.8
冠婚葬祭、園・学校行事	人数(人)	89	4	11	9	4	26	4	3	2	0	11	9	1	0	5
	構成比(%)		4.5	12.4	10.1	4.5	29.2	4.5	3.4	2.2	0.0	12.4	10.1	1.1	0.0	5.6
兄弟姉妹や親の通院	人数(人)	86	5	8	10	1	15	5	4	0	0	15	15	0	0	8
	構成比(%)		5.8	9.3	11.6	1.2	17.4	5.8	4.7	0.0	0.0	17.4	17.4	0.0	0.0	9.3
不定期の就労	人数(人)	49	1	2	3	1	8	2	1	1	0	4	9	2	6	9
	構成比(%)		2.0	4.1	6.1	2.0	16.3	4.1	2.0	2.0	0.0	8.2	18.4	4.1	12.2	18.4
その他	人数(人)	13	1	2	1	0	3	0	1	0	0	1	1	2	0	1
	構成比(%)		7.7	15.4	7.7	0.0	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	7.7
必要な年間利用日数	人数(人)	222	3	2	4	4	17	6	5	4	0	25	59	16	8	69
	構成比(%)		1.4	0.9	1.8	1.8	7.7	2.7	2.3	1.8	0.0	11.3	26.6	7.2	3.6	31.1

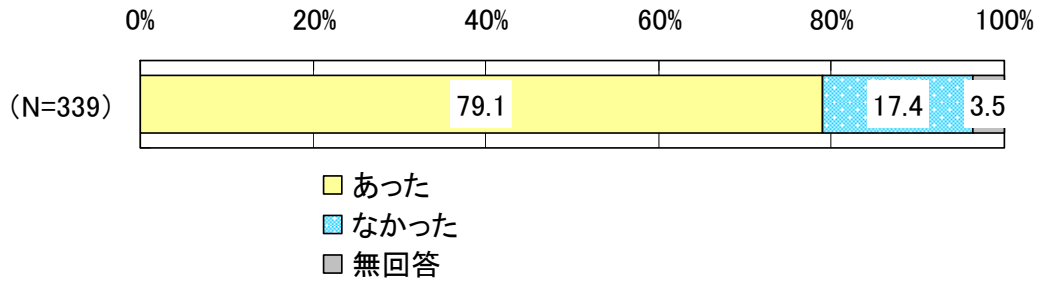
1位:太文字

病児・病後児保育について

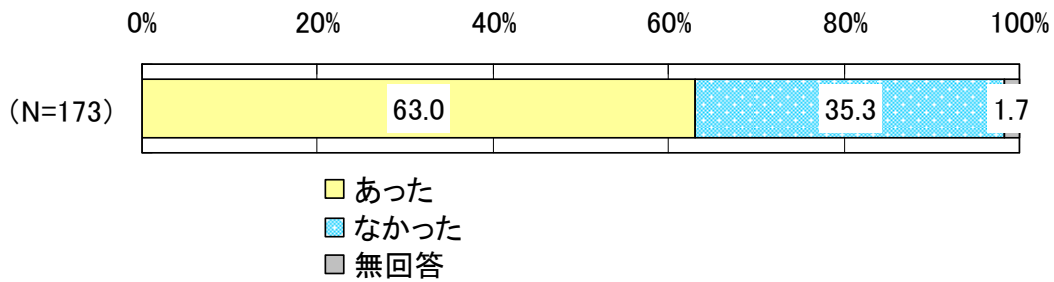
①子どもが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかった経験の有無

この1年間に子どもの病気やけがで、通常の保育サービスが利用できなかったことが「あった」という回答は就学前で79.1%、小学生で63.0%とそれぞれ多くなっています。

●就学前



●小学生

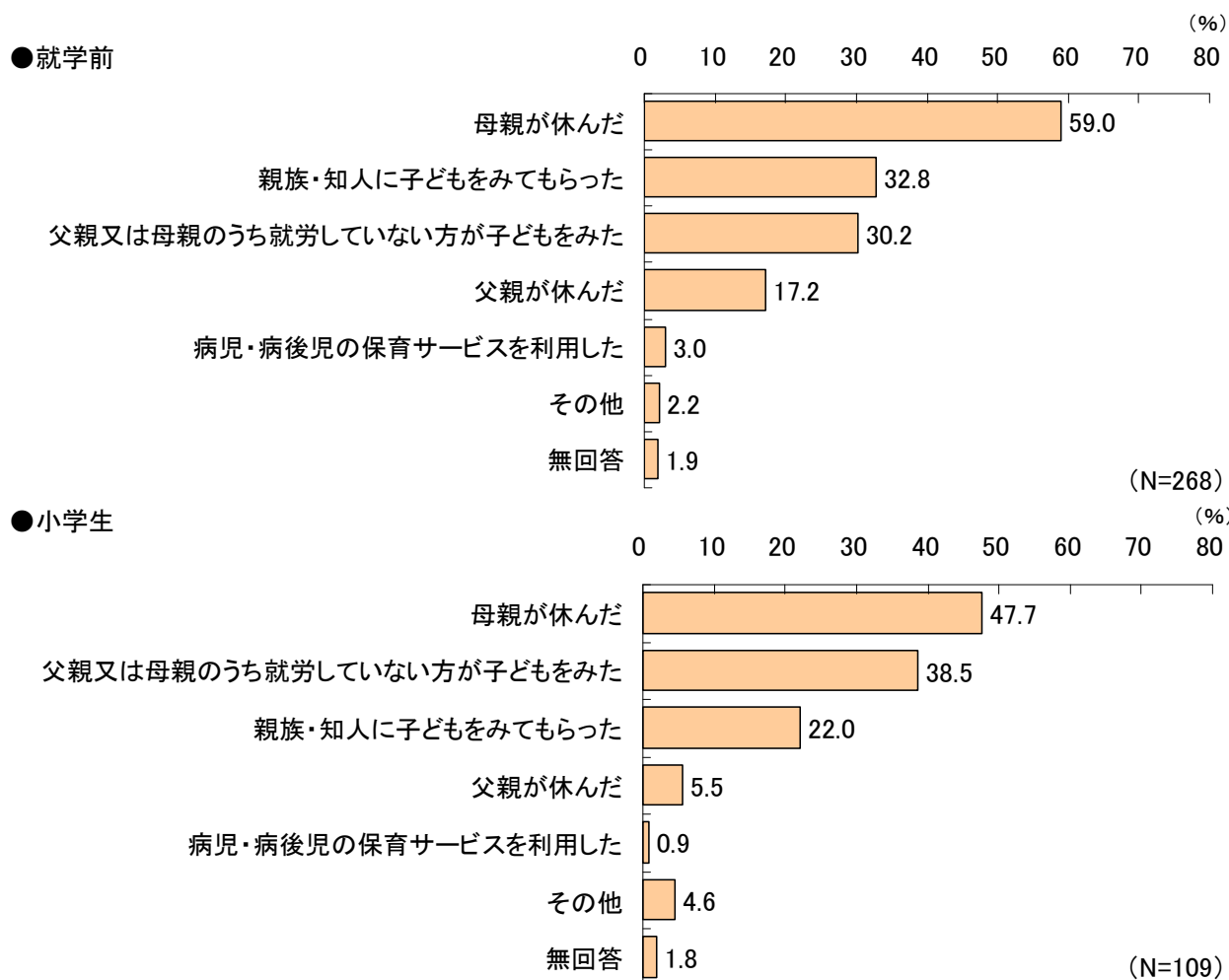


写真：市内で病後児保育事業を実施している施設  
(カオルキッズランド・ケアルーム)

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### ②子どもの病気やけがで通常の保育を利用できなかったときにとった対処法

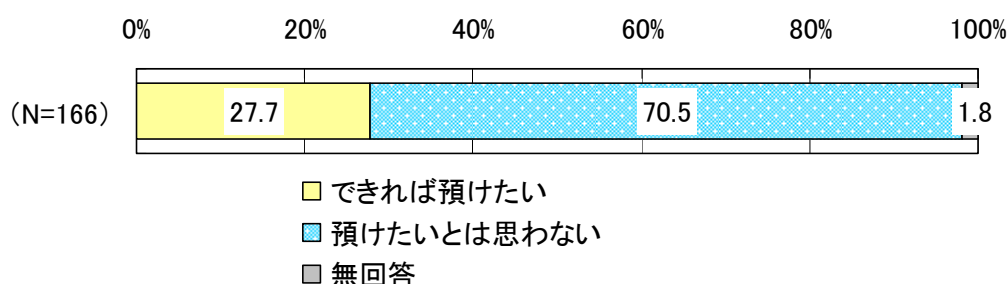
通常の保育サービスを利用できなかったときの対処法として、「母親が休んだ」という回答が最も多く、就学前で59.0%、小学生で47.7%となっています。次いで就学前で「親族・知人に子どもをみてもらった」が32.8%となっていますが、小学生については、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が38.5%となっています。「病児・病後児の保育サービスを利用した」への回答は、就学前で3.0%、小学生で0.9%となっています。



### ③病後児のための保育施設等の利用意向（就学前）

病後児のための保育施設等の利用意向について、27.7%が「できれば預けたい」と回答しています。

保護者が仕事を休んで対応していることも多く、病児・病後児保育の充実が必要となっています。



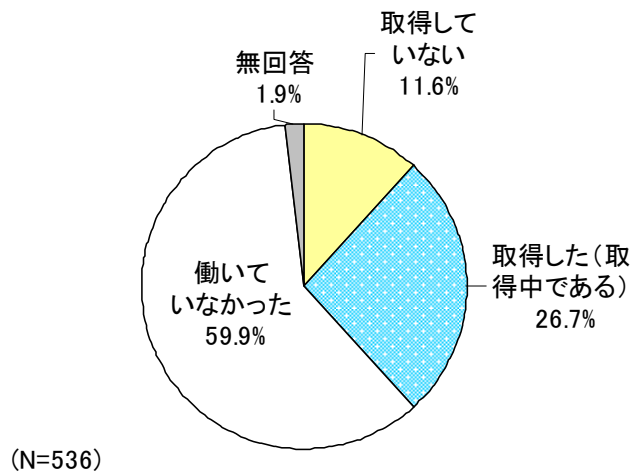
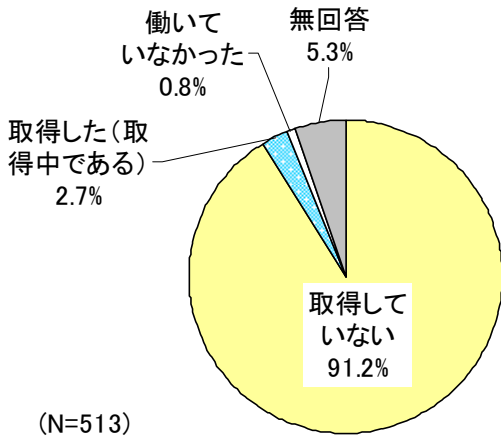
育児休業制度について

①育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が59.9%と最も多く、次いで、「取得した（取得中である）」が26.7%、「取得していない」が11.6%となっています。

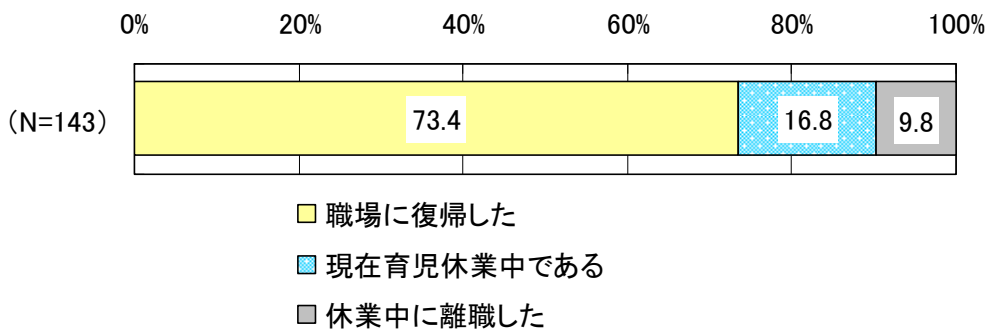
●父親

●母親



②母親の育児休業後の職場への復帰状況

母親のうち、育児休業を取得した方で育児休業後、職場に復帰したかどうかについて、「職場に復帰した」という回答が73.4%と最も多くなっています。また、「休業中に離職した」への回答は9.8%となっています。



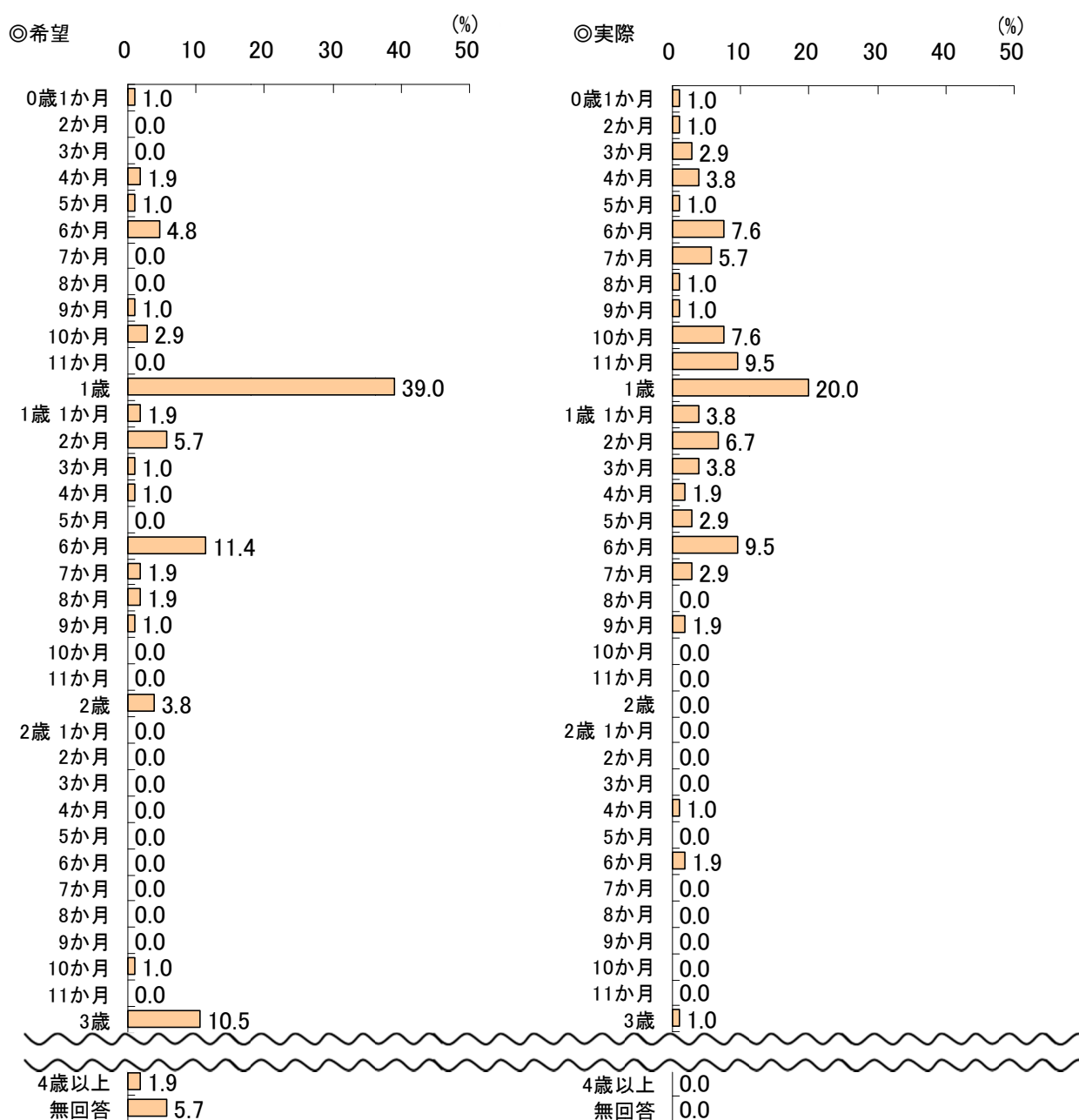
## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### ③母親が職場復帰を「希望」していた時の子どもの年齢、「実際」の復帰時の子どもの年齢

母親が職場への復帰を「希望」した時の子どもの年齢については、「1歳」が39.0%と最も多く、次いで、「1歳6か月」が11.4%、「3歳」が10.5%となっています。

「実際」に職場への復帰をした時の子どもの年齢については、「1歳」が20.0%と最も多くなっています。次いで、「0歳11か月」と「1歳6か月」が9.5%となっています。62.1%が「1歳」までに職場への復帰をしています。

現状では希望の時期よりも早く復帰している状況があり、産後及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な確保とワーク・ライフ・バランスが重要です。



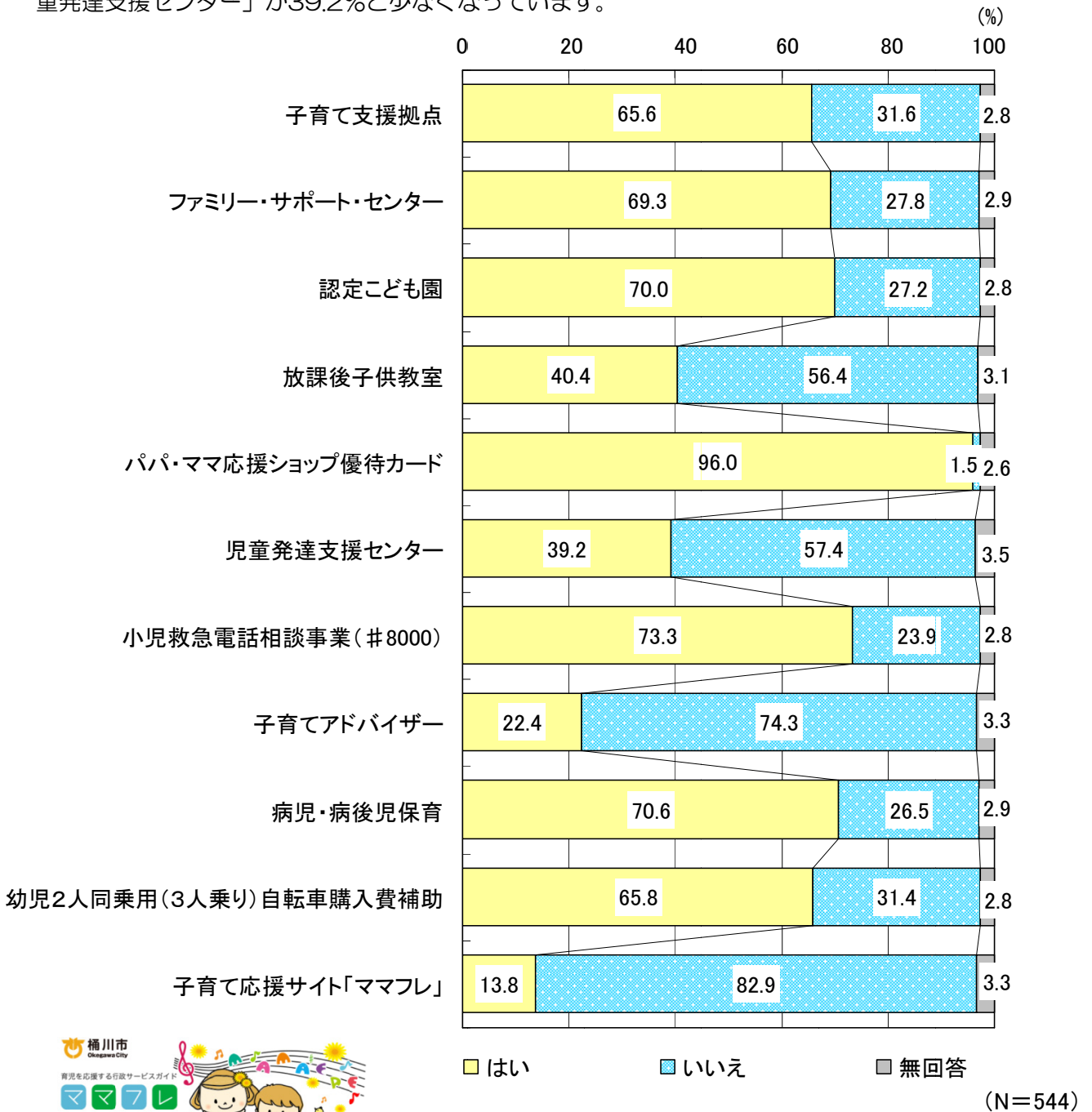
(N=105)

子育て支援サービスの認知度・利用度について

①- (i) 子育て支援サービスの認知度（就学前）

就学前の子育て支援サービスの認知度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が96.0%、「小児救急電話相談事業（#8000）」が73.3%、「病児・病後児保育」が70.6%と多くなっています。

一方、「子育て応援サイト『ママフレ』」（※）が13.8%、「子育てアドバイザー」が22.4%、「児童発達支援センター」が39.2%と少なくなっています。



◇コラム◇

子育て応援サイト「ママフレ」とは？

子育て応援サイト「ママフレ」は、子育てに関わる情報を案内している子育て応援の行政サービスガイドです。

行政サービス、相談、施設・窓口、病院等の案内を行っているほか、日常の子育てに関する情報を取り上げる「ママフレ特集」などを掲載しています。

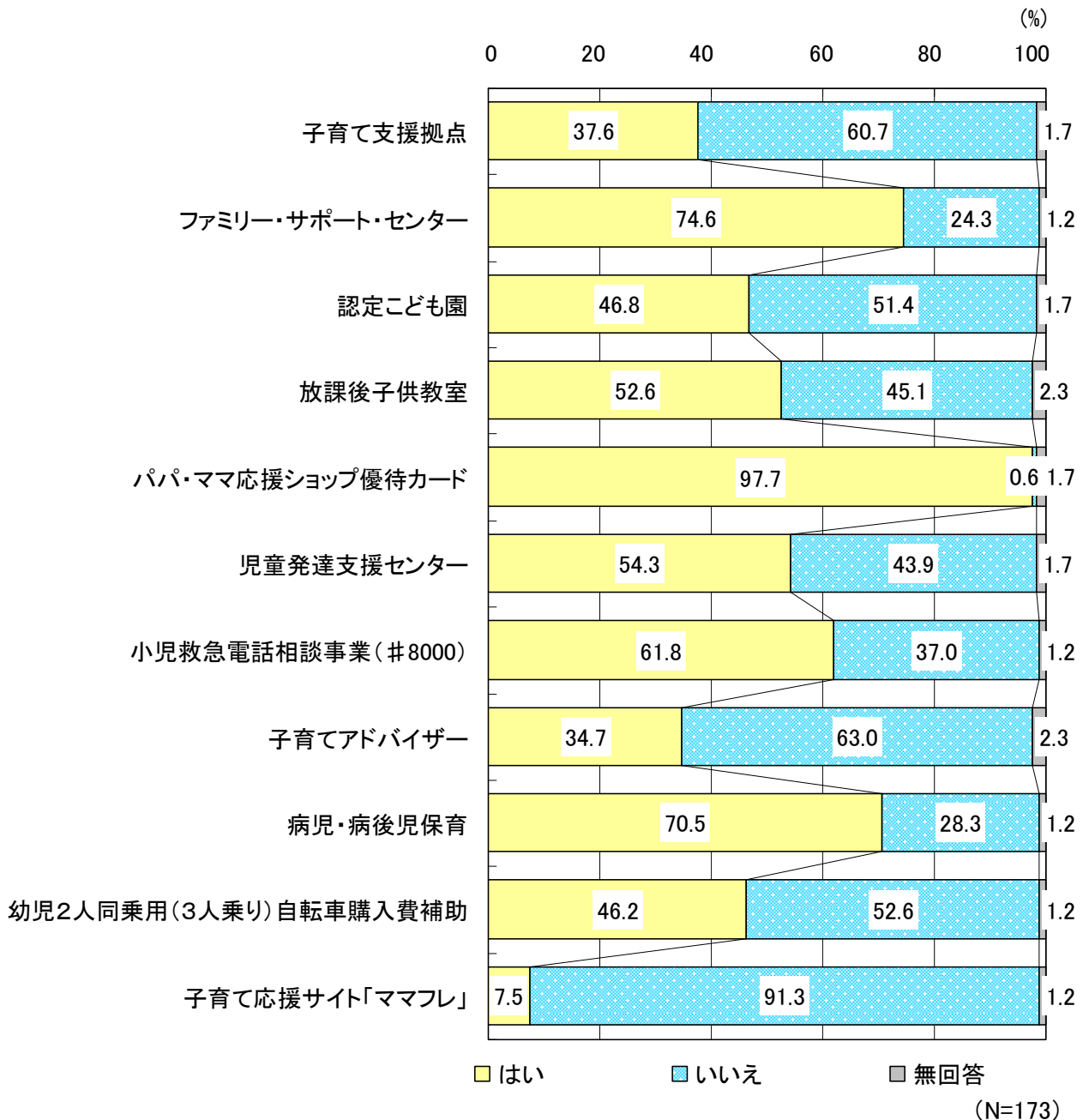
子育て応援サイト「ママフレ」のURLはこちら <http://okegawa-city.mamafre.jp/>

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### ①ー (ii) 子育て支援サービスの認知度 (小学生)

小学生の子育て支援サービスの認知度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が97.7%、「ファミリー・サポート・センター」が74.6%、「病児・病後児保育」が70.5%と多くなっています。

一方、「子育て応援サイト『ママフレ』」が7.5%、「子育てアドバイザー」が34.7%、「子育て支援拠点」が37.6%となっています。

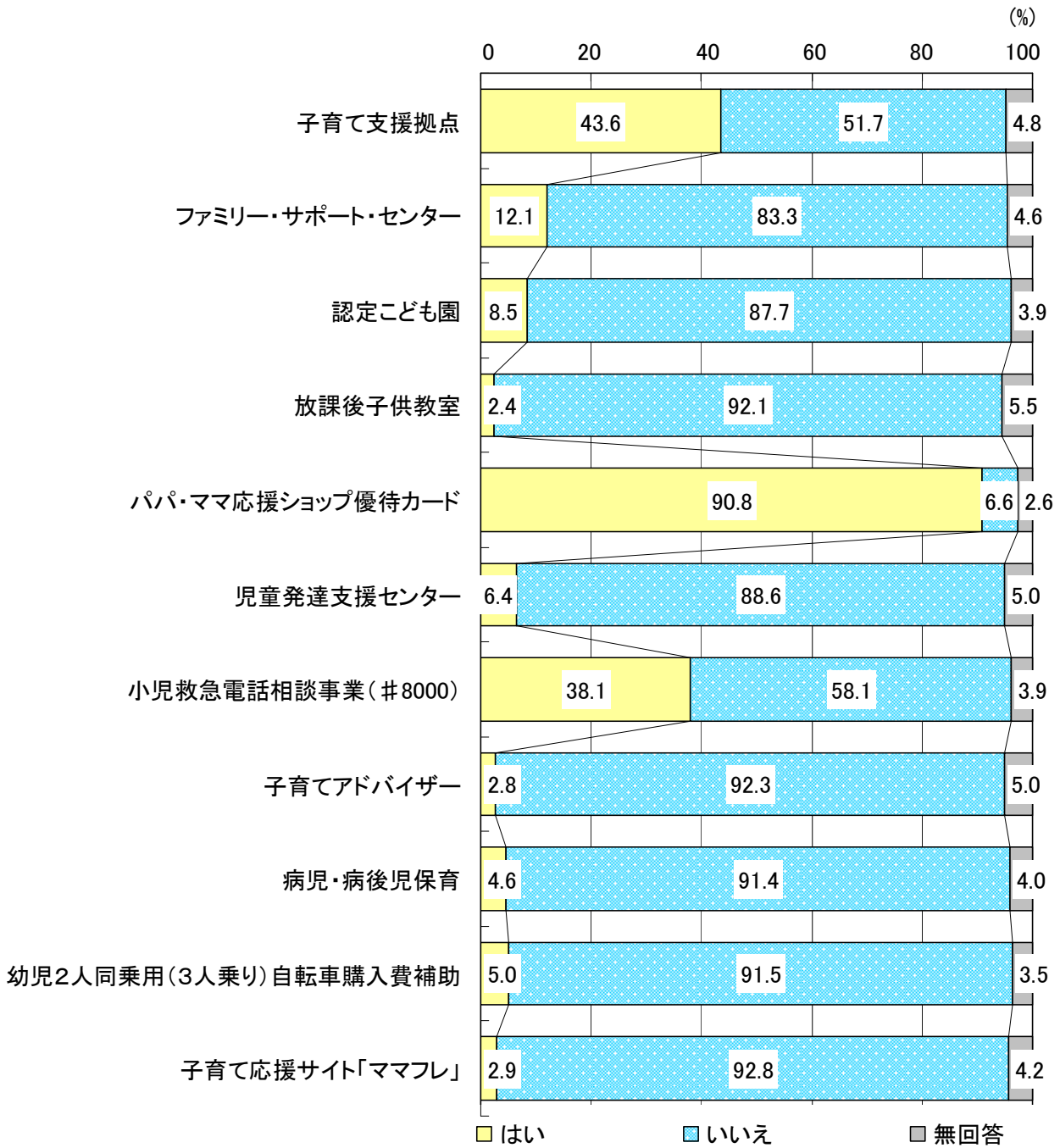




②- (i) 子育て支援サービスの利用度（就学前）

就学前の子育て支援サービスの利用度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が90.8%と最も多くなっています。次いで、「子育て支援拠点」が43.6%、「小児救急電話相談事業（#8000）」が38.1%となっています。

一方、利用度が低いのは、「放課後子供教室」が2.4%、「子育てアドバイザー」が2.8%、「子育て応援サイト『ママフレ』」が2.9%となっています。



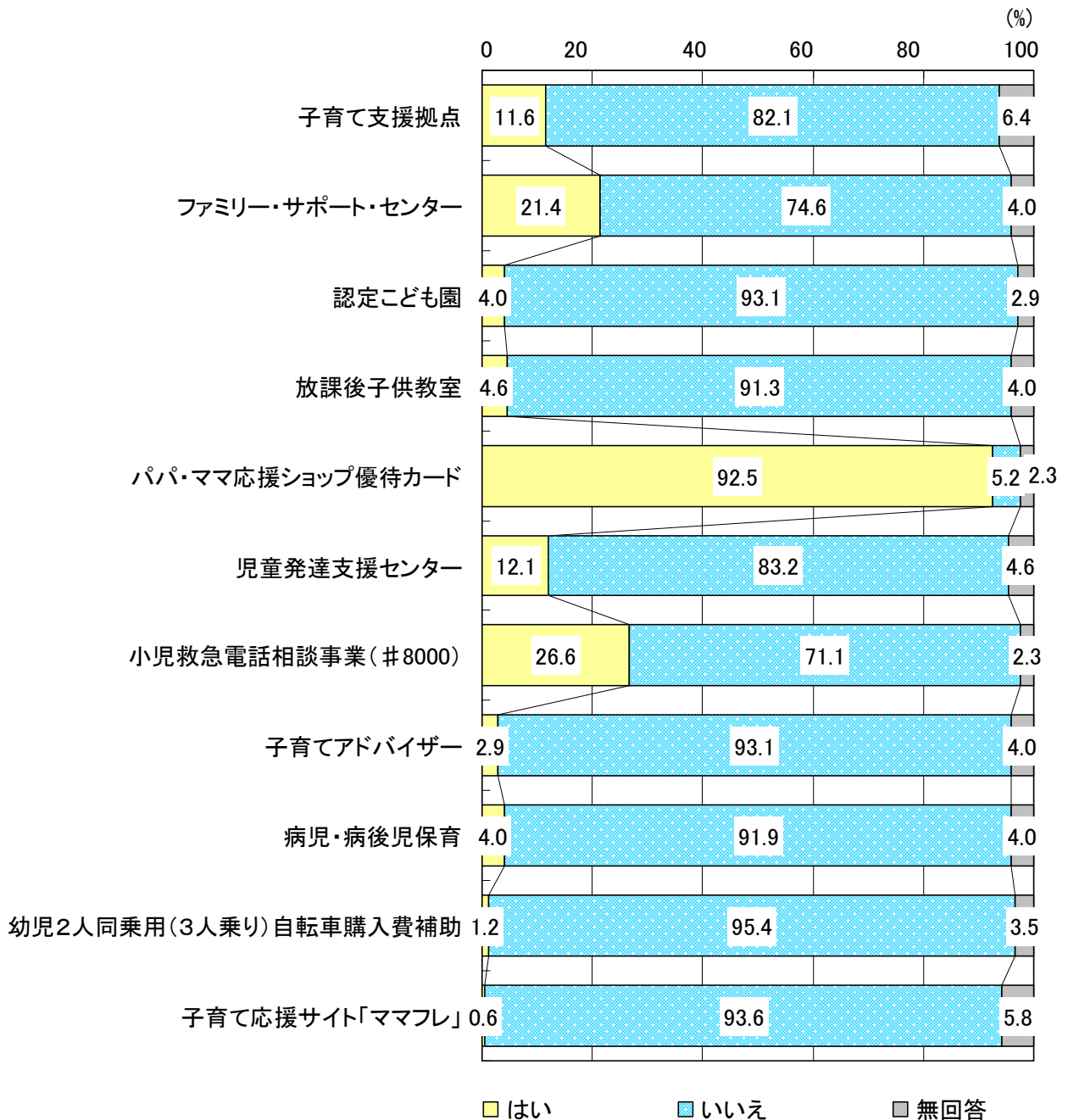
(N=544)

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### ②ー (ii) 子育て支援サービスの利用度 (小学生)

小学生の子育て支援サービスの利用度については、「パパ・ママ応援ショップ優待カード」が92.5%と多くなっています。次いで、「小児救急電話相談事業（＃8000）」が26.6%、「ファミリー・サポート・センター」が21.4%となっています。

一方、利用度が低いのは、「子育て応援サイト『ママフレ』」が0.6%、「幼児2人同乗用（3人乗り）自転車購入費補助」が1.2%、「子育てアドバイザー」が2.9%となっています。



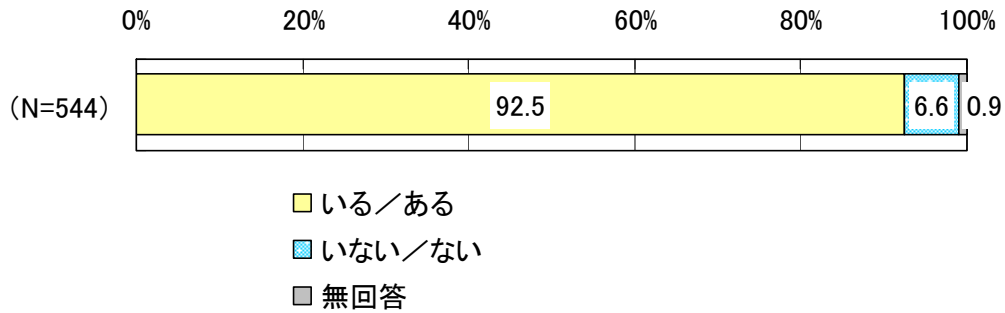
(N=173)

## 子育ての実態と希望について

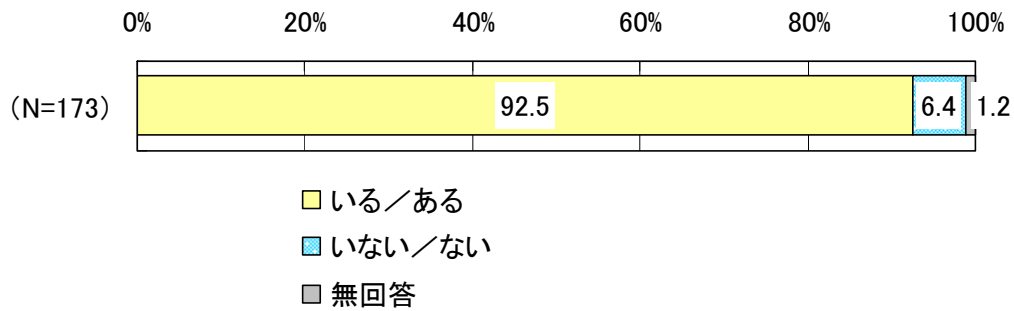
## ③子育てについて相談できる人・場所の有無

子育てについて相談できる人の有無については、相談できる人、または相談できる場所が「いる／ある」という回答が、就学前、小学生ともに92.5%となっており、ほとんどの方が「いる／ある」と答えています。

## ●就学前



## ●小学生



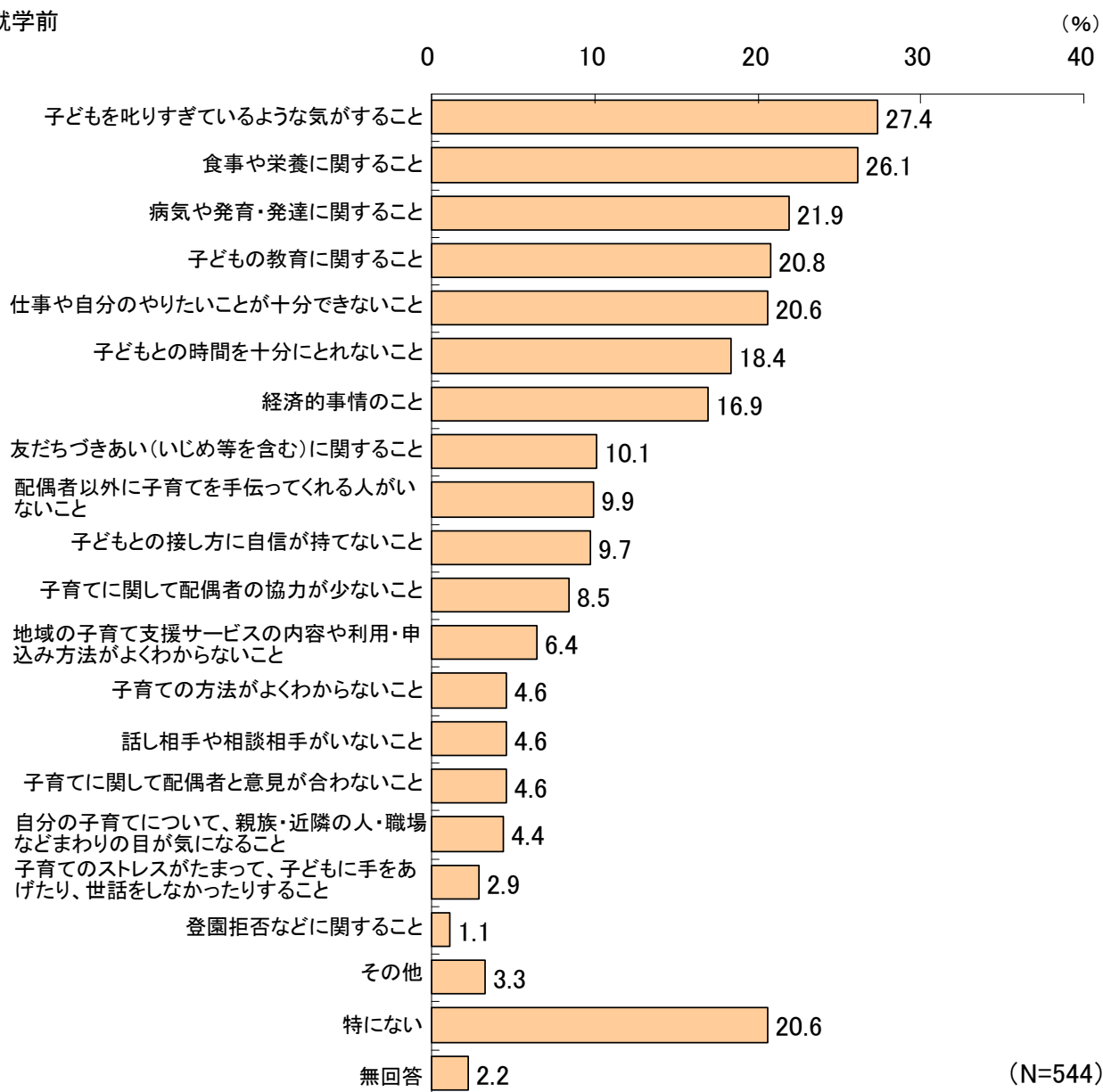
④子育てに関して日常悩んでいること・気になること

子育てに関して日常悩んでいること・気になることについては、就学前において「子どもを叱りすぎているような気がする」と27.4%と最も多くなっており、次いで「食事や栄養に関すること」で26.1%、「病気や発育・発達に関すること」が21.9%となっています。

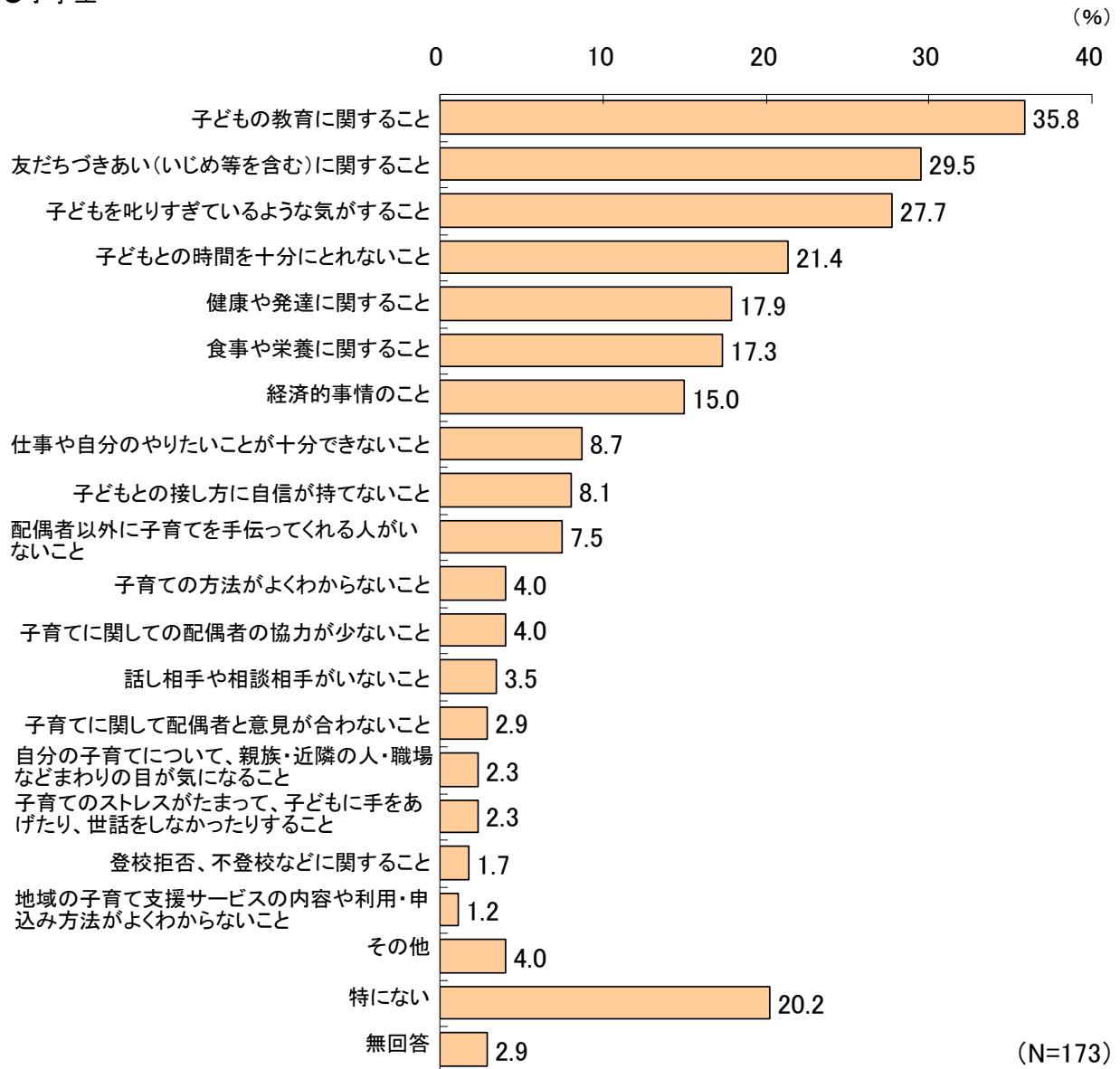
また、小学生においては、「子どもの教育に関すること」が最も多く、35.8%となっています。次いで、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が29.5%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と27.7%となっています。

就学前では「子どもを叱りすぎているような気がする」と多く、小学生に関しては、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が比較的多くあることから、今後さらに保護者及び子どもが気軽に相談できる体制などを整えていくことが求められています。

●就学前



●小学生



(N=173)

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

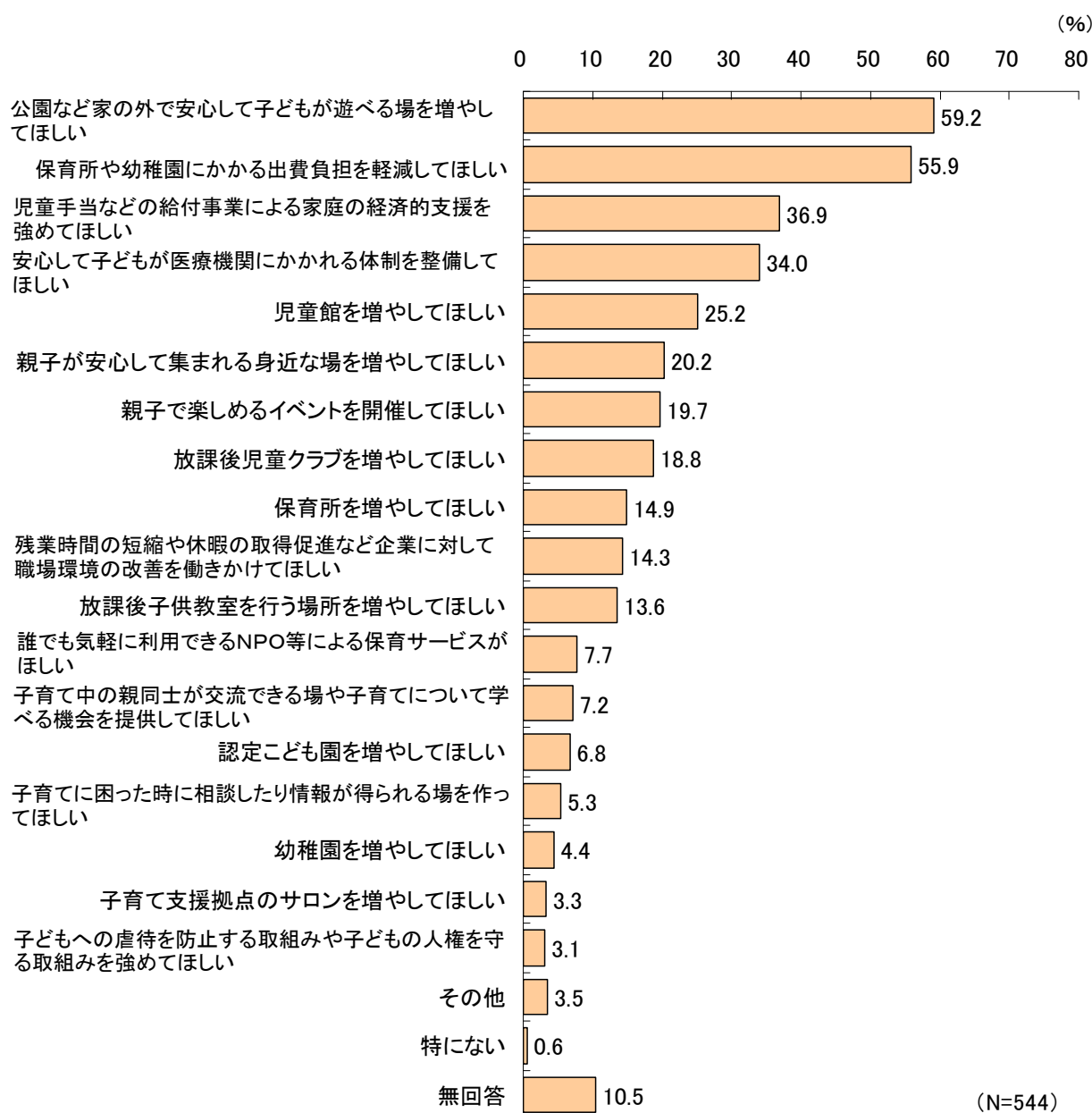
### ⑤行政サービスへの要望

子育て支援に関する要望について、就学前においては、「公園など家の外で安心して子どもが遊べる場を増やしてほしい」が59.2%、「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減してほしい」が55.9%となっています。

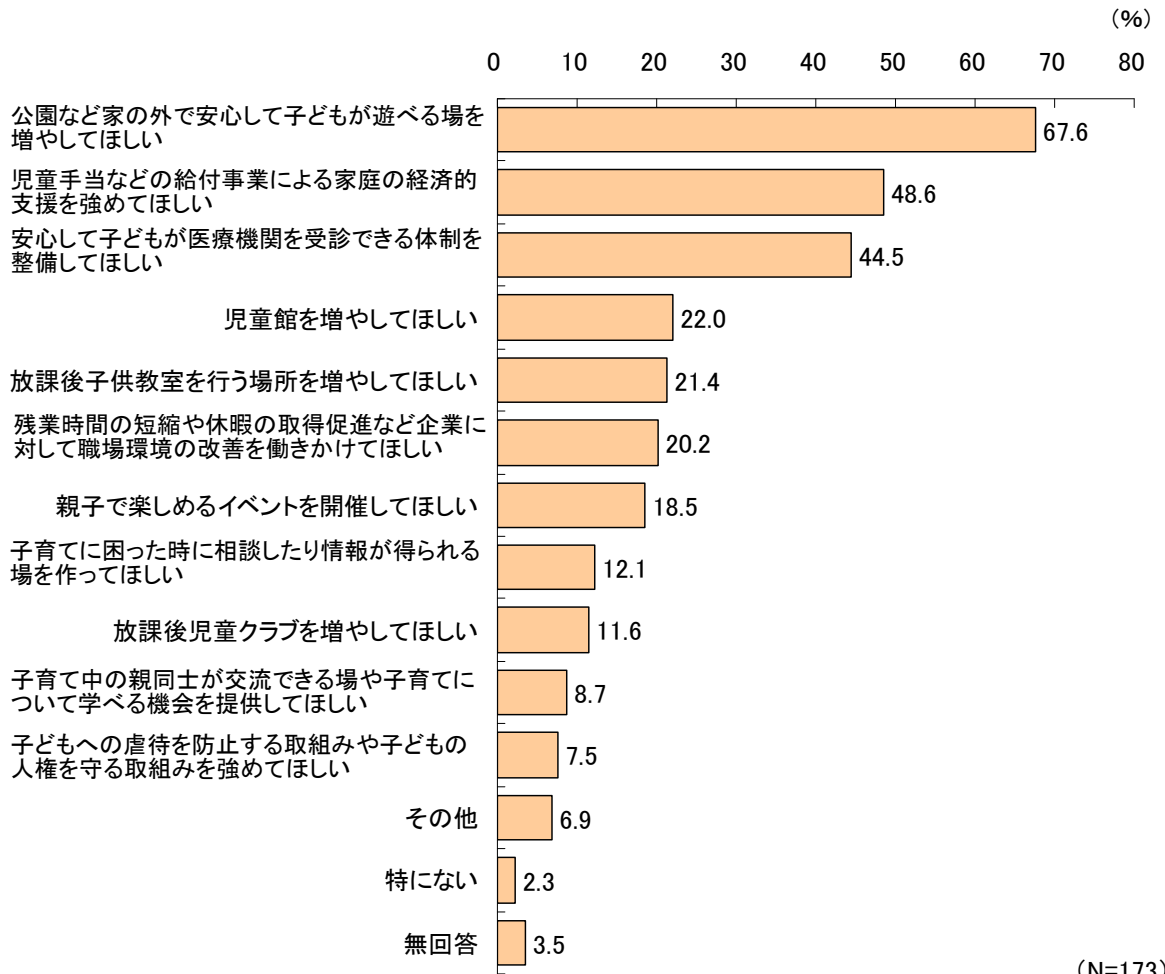
また、小学生においては、「公園など家の外で安心して子どもが遊べる場を増やしてほしい」が67.6%、「児童手当などの給付事業による家庭の経済的支援を強めてほしい」が48.6%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制を整備してほしい」が44.5%となっています。

就学前、小学生ともに遊べる場所の確保が必要という意見が最も多く、子どもの遊び場の整備が課題となります。

#### ●就学前



●小学生



(N=173)

## 第2章 桶川市の子ども・子育ての現状

### 桶川市の子育て支援事業に関する意見・要望（就学前）

大分類	分類	件数集計
保育園・幼稚園、放課後児童クラブ、学校、子育て支援サービスなど	放課後児童クラブの充実	23
	子育て支援の場の充実、児童館の増設	20
	保育園の増設、待機児童解消、保育園に入りやすくしてほしい	17
	緊急時や夜間・休日に気軽に利用できるサポート	7
	保育園の充実	6
	幼稚園の充実	5
	小学校、学校教育の充実	3
	入園・入所の審査の簡素化	2
	認定こども園の新設希望	2
	保育の質の向上、職員の処遇改善や充実	1
	ファミリー・サポート・センターなどの充実	1
孤立化、孤独な子育てにならないための仕組みや援助	1	
行政施策	手続きや職員の対応の改善	3
	桶川市の子育て支援施策について	2
公共施設・公共交通	公園・広場、遊び場の充実	13
	文化施設の充実	5
	子連れでも外出しやすい・利用しやすい施設整備	5
	学校や保育施設の安全整備	2
情報・相談体制の充実	子育てに関するサービスや施設の情報の分かりやすさ	4
	保育園に関する情報発信方法について	1
経済的な援助	保育園利用料について	7
	産後に必要な費用などの援助	6
	幼稚園の利用料軽減	5
	児童手当、給付金などの充実、税金の優遇など	3
医療	医療費の窓口支払いが負担	28
	桶川市内に産科が少ない	2
	健診方法を改善してほしい	1
	健診は平日以外にも行ってほしい	1
安心・安全	道路を安全に歩けるようにしてほしい	4
その他	子どもを第一にしてほしい	2
	保育園へ子どもを預けて働くことについて	1
	母親が働きながら子どもを育てるのは大変なこと	1



## 桶川市の子育て支援事業に関する意見・要望（小学生）

大分類	分類	件数集計
放課後児童クラブ、学校、子育て支援サービスなど	放課後児童クラブ・保育園に入りやすく、公平な審査	11
	放課後児童クラブの充実	8
	子育て支援の場、児童センター	3
	小学校、学校教育の充実	2
	ファミリー・サポート・センターなどの充実	1
公共施設	安心・安全な遊び場や居場所	8
	体を動かせる場所・施設	1
安心・安全	安全な通学路	1
医療	医療費の窓口支払いが負担	5
経済的な援助	経済的な支援の充実	1